

# スチールラック支柱キット DDS537-BK

## 取扱説明書

### ■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

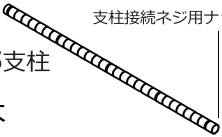
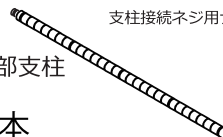
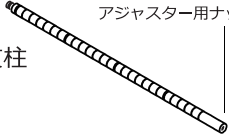
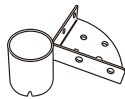
### ■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.  
This product is designed and manufactured for use in Japan only.  
We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.  
The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product.  
The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

### ■ ご使用前に

- ・本製品は材木などを使用して屋内用の棚を作成するための金具と支柱です。それ以外の用途に使用しないでください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・梱包用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。

### ■ 各部名称 / 使用方法

|                                                                                                                              |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>支柱接続ネジ用ナット</p> <p>上部支柱</p> <p>4本</p>  |  <p>支柱接続ネジ用ナット</p> <p>中部支柱</p> <p>4本</p> | <p>支柱接続ネジ</p> <p>8個</p>  <p>※下部、中部支柱に取付済み</p>                                                                                                                       |
|  <p>アジャスター用ナット</p> <p>下部支柱</p> <p>4本</p> | <p>ブラケット</p>  <p>20個</p>                | <p>テーパースリーブ</p> <p>42個 (予備 2 個)</p>  <p>アジャスター</p> <p>4個</p>  <p>※下部支柱に取付済み</p> |

### ■ 組立に必要な道具、その他の部材

- ・棚板： 充分乾燥させた強度のある材木をご使用ください。ホームセンター、材木店などでご購入の際はパネルソーで切断を依頼すると寸法が揃いやすいです。
- ・棚板を固定する木ネジ： 充分な強度、長さがあるものをご使用ください。棚板に厚みがある場合はコーススレッドが便利です。
- ・木工ヤスリ（平型）： 棚板の面取りに使用します。＃60程度の紙やすり、カンナなどでも代用出来ます。
- ・電動ドリルドライバと木工用ドリルビット： 金属用のビットはご使用にならないでください。
- ・ゴムハンマー： 棚板の固定に使用します。
- ・多用途接着剤： 棚板をブラケットに固定するネジが緩い場合、ネジ穴を補強する場合にご使用ください。金属と木材が接着可能な物をご使用ください。

### ■ 製品仕様

最大支柱長： 約 180cm

材質： スチール、粉体焼付け塗装 原産国： 台湾

本製品金具安全荷重：棚一段あたり 40kg 以下（棚板重量を含む）、棚全体の安全荷重は 70Kg 以内。

※棚幅 1m 以内、4 点で水平棚を等分布で受けたときの安全荷重です。

※棚板の素材によっては、上記以下の荷重でも破損する場合があります。

※本製品金具部分の安全荷重です。棚に使用する板及び取り付けネジの安全荷重数値ではございません。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ・組立は必ず2人以上で行ってください。
- ・材木の加工、棚の組立は十分な広さを確保し、床、壁などを養生してキズが付かないように注意して行ってください。
- ・十分強度のある平らな場所でご使用ください。平らな場所以外では、転倒する恐れがあります。
- ・材木によっては反りや割れ等が発生します。不安定になったり強度が落ちた場合は使用を中止してください。
- ・棚としてご使用ください。イスや机などには使用しないでください。ケガをしたり破損などの原因となる可能性があります。
- ・人またはペットなどが棚にぶら下がったり、登ったりしないようにしてください。ケガをしたり転倒、破損などの原因となる可能性があります。
- ・床材によってはキズがつく可能性があります。床へのキズが懸念される場合は、緩衝材をご使用ください。
- ・重量物は載せないようにしてください。棚板の素材、厚み、サイズにより強度は変わります。
- ・家具転倒防止金具を使用して壁面もしくは天井に本製品を固定してください。
- ・製品をストーブなどの熱源のそば、直射日光の当る高温の場所などに放置しないでください。破損、変形、変色の恐れがあります。
- ・本製品は屋内で使用してください。
- ・製品また付属品は乳幼児の手の届かないところに置いてください。製品の一部を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

## ■基本的な組立方法

- 1) 材木を正確に同じ大きさに切断してください。

※ホームセンターなどに依頼する場合は、寸法切り加工対応店へご依頼ください。

※木目が長手方向（棚の長辺）と平行になるようにしてください。

- 2) ページ下部 ③断面図の様にブラケットの曲がりに円弧があるため

材木（棚板）の裏面一部を面取りします。

棚板の裏面の角にブラケットを仮置きし、目印を付けます。

- 3) ②の目印の間、ブラケットが被る部分を約 1 ～ 2MM 幅で面取りします。

※木工ヤスリを使うと早く作業できます。

③断面図の様に棚板とブラケットが密着するようにしてください。

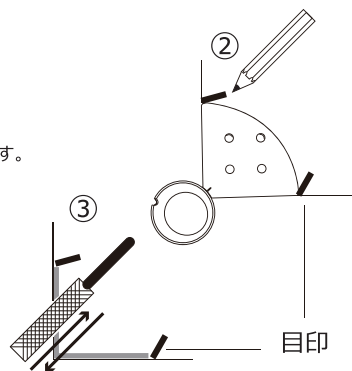
- 4) 棚板裏面の角にブラケットを被せてネジ止めします。

ネジ穴はブラケット底面の 2 つ以上を使用してください。

※材木が硬い、木目、節などでネジ穴がずれやすい、

材木が割れやすい場合などは、センターポンチもしくは錐などでマーキングしてからドリルで下穴を開けてください。

※ネジ穴がズれるなどして緩くなった場合は、他のネジ穴も使うか多用途接着剤を併用してください。

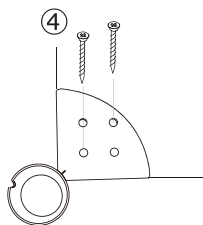


③断面図  
ブラケット

円弧

H

約 1 ～ 2MM



- 5) 全ての棚板四隅にブラケットをネジ止めします。

- 6) アジャスターを下部支柱にねじ入れます。

下から 3 目盛以内を目安にテーパーを取り付けます。

※テーパーは細くなっている方が上です。(図 A 拡大)

棚板に下部支柱を通します。

網棚の上下にご注意ください。切欠きがある方が下です。

棚板の角をゴムハンマーで叩き固定してください。

※テーパーがズレやすい場合は、テープなどで

支柱に固定してゴムハンマーで叩いてください。

※棚板に傷、汚れが付かないようにあて木等を使用してください。

- 7) 下部支柱に中部支柱をネジ込み延長します。

※中部支柱を使用せず、下部支柱と上部支柱のみでも使用可能です。

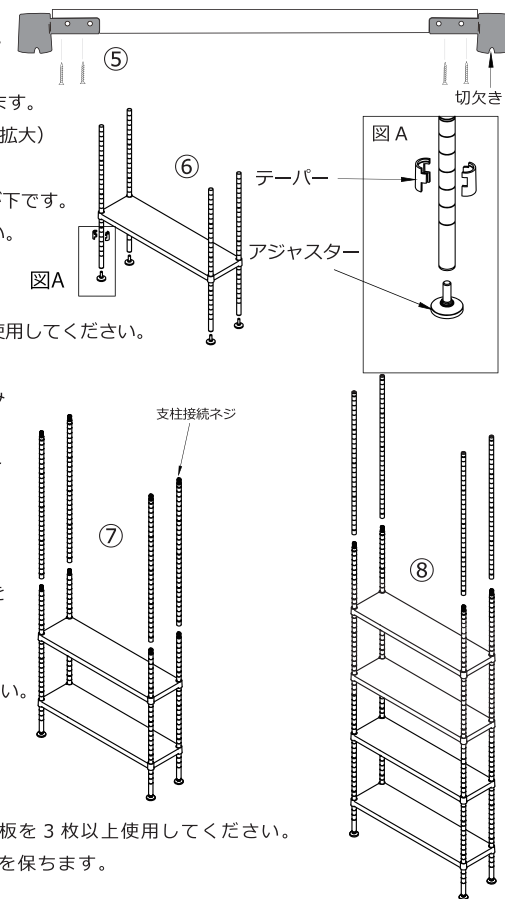
- 8) (7) と同じように中部支柱に上部支柱をネジ込み延長します。

(6) と同じようにその他の棚板を組みます。

- 9) アジャスターを調整します。

壁の前で使用される場合は壁側のアジャスターを数ミリ程度短くして壁側に少し傾く様に調整してください。

- 10) 必要に応じて家具転倒防止金具をご使用ください。



## ■棚の剛性確保

最下段の棚板は床から 3 目盛以内に設置し、棚板を 3 枚以上使用してください。

スチールラックは棚板を増やすことにより剛性を保ちます。

## ■トラブルシューティング

材木の寸法が揃っていない等で、ブラケットの位置が少しズれている場合、ブラケットと材木をとめているネジを緩めます。場合によっては 1 本抜きます。棚を組んでから、緩めたネジを締め直します。

※材木の寸法が揃っていない等で、ブラケットの位置が大きくズれていて、上記の方法で調整出来ない場合は棚板の寸法を揃えてください。ズレが大きいと棚全体が不安定になったり強度が落ちる可能性があります。